

# あわら市議会だより

## 第57号

平成30年8月15日発行

あゝ、あわら贅沢AWARA ZEITAKU



金津まつり

6月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	4p
一般質問	6p
行政視察報告	12p
請願・陳情・意見書等	13p
議案と結果	13p
ふるさと探訪	14p



インターネットで議会を視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

### 議会日誌

おもな会議のみ掲載

- 4月22日 広報編集特別委員会  
5日 全員協議会  
議会活性化特別委員会
- 5月8日 議会運営委員会  
全員協議会  
第92回議会臨時会
- 11日 議会活性化特別委員会行政視察  
14日 あわら市議会・加賀市議会  
合同による中央要望活動(15日)
- 16日 議会運営委員会行政視察  
17日 議会活性化特別委員会  
18日 産業建設常任委員会管内視察  
21日 総務教育厚生常任委員会管内視察  
22日 議会報告会(24日)  
25日 議会運営委員会  
28日 全員協議会
- 6月1日 第93回議会定例会 開会  
一般質問(12日)  
11日 総務教育厚生常任委員会(14日)  
13日 産業建設常任委員会(18日)  
15日 議会運営委員会  
21日 全員協議会  
22日 第93回議会定例会 閉会  
広報編集特別委員会
- 7月11日 議会研修会  
18日 広報編集特別委員会(26日)

## ふるさと探訪 「御簾尾・平田山龍澤寺」

龍澤寺は曹洞宗大本山総持寺末の禅寺で古来坂北巨刹として知られており、永徳2年(1383年)源氏の末流小布施義氏の本願によって建立されました。開山梅山禅師は北陸に向かって行脚している時、龍澤寺を創建し、師を請じたので迎えられて、その開山となりました。梅山派一門の教風は大いに繁栄したといわれています。

しかし、応永24年(1417年)龍澤寺で示寂しました。梅山遺誠を始め40余通の文書や記録は禍を免れて現存しています。

特に土仏観音は、もと梅山禅師の念持仏であったので、秘仏として毎年9月7日の開山忌に御開帳が行われています。  
「参るより たのみをかける 御簾尾乃 風にあがれる 御戸帳のうち」との御詠歌があり、墓地には梅山以来の歴代の墓もあります。

皆様、ぜひ龍澤寺にご参拝ください。(山田)



龍澤寺庭園 市指定名勝

### 編集後記

議会だよりは、かねてから「文字が多い」「読みづらい」等のご意見が多くあり、先般、委員会において、「広く市民の皆様へ、知らせ伝えて理解して頂く」を基本として「まず読んでもらうには」の原点を考え、対策案・変更案などを議論しました。

しかし、委員や事務局の中に編集構成の専門家が居るわけでも無く、まだまだ手探り状態であり、すぐに効果が現れはしないと承知していますが、発行回数を重ねる毎に良くしていこうとメンバーの意識も強く固まった処であります。

今回の発行にあたり、お忙しい中、ご協力くださいました皆様に感謝致しますとともに、議会だよりの今後を見据えて、更なるご協力をお願い申し上げます。(北島)

編集・発行責任者 議長 森之嗣  
市議会広報編集特別委員会  
委員長 山田重喜  
副委員長 山田知一郎  
委員 山田知一郎  
委員 山田知一郎  
委員 山田知一郎  
委員 山田知一郎

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、市議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp





# 第14回 議会報告会 「議員と語ろう会」を開催しました

5月22、23、24日の3日間、市内12会場において第14回議会報告会を開催しました。広く多くの方々に参加していただきたく、今回から「議員と語ろう会」に名称を変えました。また、話題のテーマを挙げて意見交換を行いました。合計161名の市民の皆様にご来場いただき、多くのご意見やご要望をいただきましたので、皆様の声を抜粋して紹介します。なお、皆様からの意見・要望等は各委員会や一般質問で取り上げるなど、理事者に強く要請します。

- 主な内容**
- ・3月定例会の概要報告
  - ・市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

## テーマ 「芦原温泉駅周辺まちづくりについて」



浜坂区民館

**定例会概要報告に関する質疑**

**まち・むらとときめき支援事業**

- 説明会に出席したが、計画の立て方がわからない。
- 区民館の改修等に補助を充てられるのか。

**通学援助経費(中学校)について**

- スクールバスの無料化は理解したが、電車通学する生徒はどうなるのか。
- 子どもに対する援助が手厚すぎるのではないのか。

**賑わいホールについて、修学旅行を誘致することだが、どれだけを見込むのか。**

**飲食店など、店舗を誘致する計画はどうなったのか。**

**賑わいホールについて、修学旅行を誘致することだが、どれだけを見込むのか。**



本荘公民館

**土地活用検討街区**

- 文化ホールの計画は白紙になったのか。
- ビジネスホテルを駅西側に整備してほしい。
- ビジネスホテルの需要調査はしているのか。その大きさはどのように考えているのか。

**その他**

- 芦原温泉駅に新幹線の列車は何本停まるのか。かがやきは停まるのか。
- 在来線の料金はどのくらいなのか。
- 市の財政が悪化するのではないか。
- 市長が代わったとの理由で、計画が変更されることはおかしい。

**賑わいホールについて、修学旅行を誘致することだが、どれだけを見込むのか。**

**飲食店など、店舗を誘致する計画はどうなったのか。**

**賑わいホールについて、修学旅行を誘致することだが、どれだけを見込むのか。**

非常に良い。



坪江公民館

**テーマに関する意見交換**

**西口駐車場について**

- 300台も必要か。
- 土地活用検討街区の整備が未定なのに、この規模の駐車場は不要だと感じる。
- 駐車場整備に対する補助金はあるのか。
- 駐車料金は安くないと客は来ないだろう。



中浜区民館

**その他**

- 波松小休校の利活用について、市がどれだけ投資できるのか。計画をしっかりと実行できるような進捗してほしい。
- 火災について、初期消火に手間取ったように感じた。住民の不安解消に努めてほしい。
- 議員定数の見直しについて、その進捗状況はどうなっているのか。
- 獣害対策について、インシンの被害状況を把握し対処してほしい。
- 議会報告会について、名称を変えたこと、テーマを設けたことは非常に良い。

# 6月定例会 平成30年度一般会計補正予算(第1号) 8,961万5千円を減額

平成30年度 本陣飾り物コンクール  
あわら市議会議長賞  
十日区本陣飾り物「金鯨(金のしゃちほこ)」  
主材料:園芸資材・レンゲ・くつべら等



■平成30年度一般会計予算総額は144億5,038万5千円に  
おおしるのりお  
■あわら市教育委員会教育長 大代 紀夫 氏の任命に同意

平成30年6月定例会が6月1日から22日までの会期で開催されました。今回の定例会では、補正予算に関するもの3議案、条例の改正に関するもの2議案、市道路線の廃止・認定に関するもの2議案、土地改良事業に関するもの1議案、人事に関するもの1議案、財産の取得に関するもの1議案の計10議案が上程され、すべて原案のとおり可決・同意されました。なお、今回は11名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、陳情1件を採択し、議員発議による意見書2件が可決されました。また、先の平成30年5月8日に臨時会が会期1日で開催され、専決処分の承認に関するもの3議案、工事請負契約に関するもの1議案の計4議案が上程され、すべて原案のとおり可決されました。

## 正副議長 在職4年表彰

坪田 正武 議員が全国市議会議長会から表彰を受けました。



## 市議会議員 在職15年表彰

卯目 ひろみ 議員が北信越市議会議長会から表彰を受けました。





# 総務教育厚生常任委員会

## インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成30年度  
一般会計補正予算

■総務課

**集会施設整備事業  
補助金  
77万4千円**

委員 集会施設の改修にかかる事業費及び補助額の上限はいくらか。  
理事者 事業費は50万円以上、500万円以下。補助率は20%です。



中浜区民館

臨時職員賃金  
228万3千円

委員 臨時職員が多すぎるとはいないか。必要なのは正職員で対応すべきである。なぜ、4月から人員不足になるのか。  
理事者 新採用職員は昨年度のうち確定しており、今年の4月に人員配置した結果、1人が不足しました。

■教育総務課

**スクールソーシャル  
ワーカー報酬  
7万5千円**

委員 スクールソーシャルワーカーの業務は何か。カウンセラーとは違うのか。  
理事者 いじめの防止や解決のために、スクールカウンセラーは生徒個人と向き合っており、相談に乗ります。ソーシャルワーカーは、いじめをとりま



福地鶏

**ふくいの地場産学校  
給食推進事業補助金  
87万9千円**

委員 地場産とはあわら市産ということか。  
理事者 地場産とは福井県産ということで、あわら市産を使うことが条件ではありません。  
この事業は、福地鶏、若狹牛、ふくいポークなどの使用を促進するものです。

■文化学習課

**中央公民館  
地下式タンク改修工事  
250万円**

委員 地下の灯油タンクを地上に設置する理由は何か。  
理事者 地下式タンクの配管に気密漏れが見つかり、改修が必要となりました。今後の維持管理を考え、地上に設置することとしました。

■スポーツ課

**湯のまちグラウンド  
照明修繕  
35万円**

委員 湯のまちグラウンドの照明は使用されているのか。  
理事者 主にソフトボールのナイターに使用されています。

■国体推進課

**国体炬火イベント  
「竹田川フェスタ」  
財源更正**

委員 炬火イベントの協賛金はどれくらい集まったのか。  
理事者 目標は100万円ですが、100万円を上回る見込みです。  
委員 国体の歓迎看板を早く設置すべきではないか。  
理事者 JR芦原温泉駅前の看板を国体用に切り替えるとともに、金津インター出口には花で作ったモニュメントを早急に設置します。



あわら市スクールバス

あわら市児童又は生徒の通学費の助成に関する条例の制定について

委員 定期券の助成は加賀市の錦城中学校への通学者だけが対象になるのか。金津中学校へ電車通学していた生徒は、スクールバスに代わったのか。  
理事者 対象は錦城中学校に通う生徒のみです。電車通学していた生徒は、全てスクールバスに移行しました。

# 産業建設常任委員会

## インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成30年度  
一般会計補正予算

■農林水産課

**カラス捕獲及び  
処分に係る委託料  
205万3千円**

委員 今年度より、その業務が生活環境課から農林水産課へ所管替えとなった理由は何か。  
理事者 イノシシ対策に加え、カラス対策も併せて農林水産課で行った方が効率的です。また、カラスの専門的な生態調査などを行う上でも適当だと考えたからです。



移動式カラス檻

理事者 大雪により有害鳥獣侵入防止柵が倒壊した地区に対して、その再建に要する経費の一部を補助するものです。  
委員 このことに関連して、鳥獣害対策は以前から体制強化を要望してきたが、今年度は担当を1



捕獲されたイノシシ

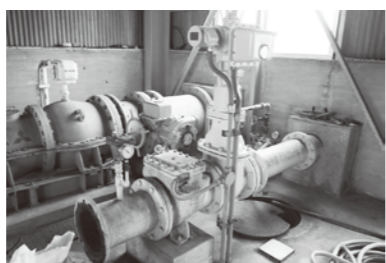
**鳥獣被害防止総合  
対策事業  
42万4千円**

**中山間地域所得向上  
支援事業(鳥獣害対策)  
229万7千円**

人増員しただけである。現状では十分な対策ができないので、予算を増額すべきである。さらに、捕獲したイノシシの処分等についても考える必要がある。今後、現状を把握した上で、対策室を設けるなど、抜本的対策を講ずるべきである。  
理事者 鳥獣害対策は非常に大きな問題であり、県への要望事項にも挙げています。なお、そのノウハウを持つ農林総合事務所との連携も強化し

**角屋排水機場ポンプ  
取替工事  
730万円**

たいと考えています。シカが出てきたこともあり、本腰を入れる時期でもあります。今年体制や予算は不十分などころがありますが、生態調査等も含めて強化していきたいと考えています。



角屋排水機場ポンプ

理事者 排水機場の常時排水ポンプの故障により、その取り替え工事費と、半年間は仮設ポンプで対応するための工事費です。委員 保守点検を委託しているのだから、故障する前に対応できたのではないか。  
理事者 定期点検を年1回、運転点検を年2回行っています。ポンプは設置から相当な年数を経過し、メーカーは製造を終了しています。よって、

**市道路線の廃止、  
認定について**

■建設課

**金津・三国線及び  
田中々住宅1号線の  
廃止、坂ノ下・湯の  
まち線の認定**



県に移管される市道金津・三国線

部品も全くありません。ポンプを新設するには非常に多額の費用が掛かるので、故障するまで使用することとしました。  
理事者 通常は現状の道路を補修して移管されますが、今回の場合は最初に補修額を提示した際、議会からの強い指摘がありました。その後、県と交渉した結果、追加で1千万円の補修を行い、全体では2千700万円相当の補修を県が行っています。また、沿線地区の同意も得ています。



# 市政について問う!

6月の定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。  
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



## ■卯目 ひろみ 議員

- 観光事業等の市民への周知について
- 教育振興対策について

## ■室谷 陽一郎 議員

- 平成29年あわら市観光白書から今後の市観光行政について

## ■山田 重喜 議員

- 市道の未登記について
- フルーツラインの県道昇格について

## ■平野 時夫 議員

- ネット依存対策について
- 食品ロス削減について

## ■毛利 純雄 議員

- 介護の現状について
- フレイル予防について
- 火災予防について

## ■山川 知一郎 議員

- 北陸新幹線県内延伸について
- 市長の報酬、退職金について

## ■吉田 太一 議員

- JR芦原温泉駅周辺整備をどのように考えているのか
- 北陸新幹線福井開業をどのように観光事業につなげていくか

## ■八木 秀雄 議員

- 芦原温泉街の大規模火災の教訓を得て何をすべきか
- 地域の中で、若者(小学生から大学生)主体の社会参画のまちづくりについて

## ■堀田 あけみ 議員

- 学校図書館の位置付けと役割について
- JR芦原温泉駅周辺整備について

## ■三上 薫 議員

- 人口減少社会と県内移住促進について

## ■仁佐 一三 議員

- 福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会について
- あわら市まち・むらときめきプランについて



吉田 太一 議員

**JR芦原温泉駅周辺整備をどのように考えているのか**

**吉田** 賑わいホール、観光案内・魅力体感施設はどのような考えで整備するのか。

**市長** 当初から計画されていた大屋根を拡充し、空調設備を備えた屋内スペース「賑わいホール」を整備します。また、観光案内・魅力体感施設については、観光案内機能に加え、観光及び交通の結節点としての情報発信機能を強化するための施設を整備します。

**吉田** 土地活用検討街区について、どのようなプランを考えているのか。

**市長** 現段階では、民間の動向を注視しながら、西口の機能充実を図るエリアとして、今後も検討を継続していきます。

**北陸新幹線福井開業をどのように観光事業につなげていくか**

**吉田** 今後、具体的に観光客をどのように増やしていくのか。

**市長** 本年度、観光振興戦略を策定します。その目的は、観光客の増加と観光消費額の拡大、地域産業の振興や地域の活性化を図ることです。

**吉田** あわら市の観光のポイントは何か。

**市長** 本市には、都会にはない多彩な観光資源が存在しています。また、あわら温泉を有し、バランス良く交通網が整っています。これら「あわらならでは」が観光のポイントです。



北陸新幹線新車両「E7系」

八木 秀雄 議員



**芦原温泉街の大規模火災の教訓を得て何をすべきか**

**八木** あわら温泉老舗旅館の火災から教訓を得て、どのような対策をするのか。

**市長** 1点目は、初期消火や初動対応の大切さです。様々な時期や場所などを想定して、初動対応強化のための訓練を充実する必要があります。

2点目は、消火力の強化です。消防署同士、あるいは消防署と消防団の連携強化が重要です。3点目は、消火設備の充実です。消火栓や防火水槽に加え、旅館などの建物内にある消火設備の点検と充実を行います。

**地域の中で、若者主体の社会参画のまちづくりについて**

**八木** 若者の力がまちづくりに不可欠ではないか。

**市長** 平成28年度の地域ブランド創出事業の中で、市内全ての小・中学生と金津高校生を対象に「あわらの未来づくりアンケート」を配布しました。また、芦原温泉駅周辺将来デザイン市民投票でも、子ども達が参加しています。今後とも子ども達の発想力や創造力を、まちづくりや地域の活性化などに生かす場を積極的に作っていきたく考えています。



嶺北消防組合による消防総合訓練



堀田 あけみ 議員

**学校図書館の位置付けと役割について**

**堀田** 学校図書館法改正後の学校司書及び司書教諭の配置状況と人員増は行ったか。

**教育長** 学校図書館法の改正後も、小学校への学校司書の配置は行っていない。しかし、中学校に1名ずつ配置する学校司書が、それぞれの校区内の小学校を、月1回程度巡回しています。

**堀田** 国の学校図書館図書整備等5か年計画に基づき、どのような予算や方針を持っているか。  
**教育長** 本市の方針としては、主に新聞配備とその活用及び読書環境の充実を進めています。

**西口の機能充実を図るエリアとして、今後も検討を継続していきます。**

**吉田** 7億7千万円を掛けて、立体駐車場を整備する理由は何か。

**市長** 新幹線芦原温泉駅開業後、特に首都圏へ向かう駅利用者については、あわら市だけではなく、これまで以上に広い範囲からの利用が見込まれます。また、イベント開催時など、現駐車場の収容能力では不十分なので、約300台を収容する立体駐車場を整備します。

**吉田** 芦原温泉駅周辺活用調査委託料200万円の内容は何か。

**市長** 賑わい空間内の各施設については、より詳細な検討が必要です。先行事例や専門的な観点から検討し、市民や観光客が利用しやすい、効果的な運営ができる施設とするための調査費用です。

**堀田** 子どもの心の居場所とする図書館の役割をどのように考えるか。

**教育長** 学校生活への不応により、図書館に心の居場所を求める児童生徒もいます。その際には、市費雇用の生活支援員や教員の業務の工夫などで対応しています。

**JR芦原温泉駅周辺整備について**

**堀田** まちづくりプランにおいて、事業規模を縮小した理由は何か。

**市長** 土地活用検討街区に予定していた19億円の事業費は、税金を投入することを一旦猶予し、民間事業者の動向を注視することとしました。市としても何らかの形でこれに関わっていく必要がありそうです。

**堀田** 市長就任後、短期間での見直しについて、意見調整が足りないのではないか。また、これまでの市民の意見を無視しているのではないか。



西口駅前広場イメージ(H30.5.28現在)





三上 薫 議員

人口減少社会と  
県内移住促進について

**三上** 北陸新幹線県内延伸に伴う新たな可能性について、市の方策はあるのか。

**市長** 本市の強みとして、北陸新幹線県内延伸に加え、国道8号福井バイパスの整備による大きな人の流れ、自然環境、地震発生率の低さなどの地理的条件などがあります。

**三上** 人口減少時代を見据えた対策はあるか。

**市長** 一つ目が、JR芦原温泉駅及び周辺の機能の充実と着実な整備の推進です。二つ目が、農業・農村の活性化、商工業・観光のさらなる振興です。三つ目が、子育て支援の強化、高齢者が元気に暮らすまちづくり、医療福祉の充実、スポーツ振興、ふるさと教育の充実です。四つ目は、ストックマネジメントの強化と防災対策の充実です。

**三上** 夕張市のように財政破綻しないためにも、体力があるうちに何か対策を講ずるべきでないか。

**市長** 本市では、財政上の優遇措置がある地方債の活用や、財政調整基金への積立てを積極的に行ってきました。しかし、北陸新幹線開通をはじめ、大型事業が控える中、事業の選択と集中を進めることが重要です。

また、行財政改革をこれまで以上に推し進め、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正配置を計画的かつ現実的に進めます。さらには、水道事業や下水道事業会計の経営健全化を図るため、将来を見据えた経営戦略を策定します。

※ストックマネジメント  
既存の建築物(ストック)を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な手法のこと。



仁佐 一三 議員

福井しあわせ元気国体  
・障害者スポーツ大会  
について

**仁佐** ボランティアの説明会を再度開催する予定はあるか。

**教育部長** プレ大会で実践的な研修を行うとともに、おもてなし研修会を開催します。

**仁佐** 一般観戦者の会場へのアクセスは全てシャトルバス利用での移動になるのか。

**教育部長** 会場へのアクセスは混雑を回避するため、マイカーの利用を自粛していただき、シャトルバスの利用を呼びかけます。なお、シャトルバスのダイヤについては、9月に発表することとしています。

**仁佐** 各会場の売店は確保できたのか。

**教育部長** 申込状況は、市全体で32店舗となり、予想以上の応募をいただいています。

**仁佐** 事業費3億5千万円を投資して開催される国体だが、どのような効果を目指すのか。

**教育部長** 今回の国体では市民が一体となり、絆を深め、感動や記憶を未来につなげる大会となることを目指しています。特に次世代を担う子ども達には、50年に1度の貴重な機会です。国内最大級のスポーツの祭典を間近で感じ、そこから受ける感動が将来への夢、希望、勇気へとつながってもらいたいと考えています。



ぽりゅう

あわら市まちむら  
ときめきプラン  
2025

**仁佐** あわら市まちむらときめきプラン策定の背景や目的は何か。

**市長** 人口減少や少子高齢化の進展に伴い、今後、集落機能が低下するとともに、コミュニティ活動の維持が困難になることが懸念されます。このような状況の中、市内各集落が持つこれらの機能を維持・継承するためには、5年先、10年先を見据え、各集落の実情や課題を把握する必要があります。

その上で、コミュニティの維持、活性化をはじめ、伝統的な祭りや文化活動の継承、集落ぐるみの健康づくり、防災機能の充実などに向け、集落の自主的な取り組みを支援する施策が重要であると考えています。



卯目 ひろみ 議員

観光事業等の  
市民への周知について

**卯目** 競技かるたを題材にした漫画「ちはやふる」を知らない人も多いため、どのように市民に周知しているか。また、その効果による実態と実収はどのようになっているか。

**経済産業部長** 平成26年度から、複製原画展やラッピングバスの運行、声優トークショーなどを開催しています。また、市民向けには、かるた教室なども実施しており、29年度からは百首全てを暗記した児童への合格証配布も行っています。

なお、本事業による観光消費額は、この4年間で約1億2千500万円と推計しています。

卯目 芦原温泉駅周辺  
整備計画の市民への理解、周知の方法はどのように行っているか。

**総務部長** ていねいに分かりやすく情報を発信することが必要です。ホームページやフェイスブックなども活用しています。今後は広報に特集を組み、市民への周知に努めます。

また、「市長ふれあいトーク」などを通して、市長が市民と対話する機会を増やし、市政に対する理解の促進に努めます。

卯目 インバウンド政策  
の動きと今後の取り組みをどう考えているか。

**市長** 平成28年に「越前加賀インバウンド推進機構」を設立し、誘客事業を行っています。エリア内の自然や食、歴史、宗教文化といった観光資源を生かした旅行ルートの造成、受け入れ体制の整備を進めています。

ふるさと教育を受け、ふるさとにより「ふるさとあわら」にこれからも住み続けたい、あるいは戻って来たいという子ども達を増やしたいと考えています。

教育振興対策  
2025

卯目 小中学校で行われているふるさと教育とはどのようなものか。

**教育長** 将来のあわら市の担い手である子ども達に、ふるさとあわらの持つ自然や歴史、文化をはじめとした貴重な資源を知り、学びを深め、さらに他に発信することは、極めて大切な教育の一つだと考えています。

本市では、全ての小中学校で地域と進める体験推進事業を実施しています。

例えば、本荘小学校では、夏祭りに公民館に飾る行灯を地域の人の指導を受けながら作製しています。

ふるさと教育を受け、ふるさとにより「ふるさとあわら」にこれからも住み続けたい、あるいは戻って来たいという子ども達を増やしたいと考えています。



室谷 陽一郎 議員

平成29年あわら市  
観光白書について

**室谷** あわら市観光入込客数は、北陸新幹線金沢開業後3年を迎えて開業前とほぼ同じ水準まで減少している。このことをどう捉えるか。

**市長** 加賀や和倉温泉でも同様に減少傾向が見られ、開業効果は一段落したものと思われ、今後は外国人観光客や修学旅行客等の誘客活動に努めていきます。

**室谷** 北陸新幹線金沢までの開業に向けた、「温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり」等の観光事業の投資効果はどう考えているか。

**市長** 芦原温泉街でいろいろ投資をしました。

新たな魅力がないと、あわらには観光客が来なかった可能性もあると考えています。発信力が福井・あわらは弱いと考えています。

**室谷** 並行在来線における特急列車存続と、その働きかけをどう考えているか。

**市長** 特急列車の存続は、並行在来線を運営する第3セクターの収支を悪化させる大きな要因となり、市にとっても財政負担を伴う事が想定されます。国や県、検討委員会、JR西日本などの今後の動きを注視し、慎重な判断が求められます。

**室谷** インバウンドに対する取り組みは、

**市長** 周遊滞在を後押しするためのアプリ導入、観光施設の説明や案内の外国語表記、WiFi環境の整備、キャッシュレスサービス導入促進、外国人対応の観光ガイド育成などを進めます。5市町の周

遊滞在型の商品、レンタルカーやタクシー等を活用した商品の造成を働きかけていきます。東アジアの団体旅行を対象に宿泊に対する補助制度などを紹介し、現地事業者に対する招へいやセールスコールなど、積極的な誘客活動を行っています。

**経済産業部長** 平成32年を目標年として、外国人宿泊客数4万人、市全体の宿泊客数100万人という目標値を定めています。

**室谷** 本市の歴史や食、文化について紹介できる人材の育成等は、

**経済産業部長** 本市でスキルアップ講座を、インバウンド推進機構では外国人観光客に対応できる案内研修を実施しています。

また、2名程度のコンシェルジュを育成確保し、観光案内所に配置することも考えています。





山田 重喜 議員

市道の未登記について

山田 市道の未登記はどれくらいあるのか。

土木部長 集落内の市道は、過去に拡幅した際、その沿線の多くの土地所有者から無償で用地が提供された経緯があります。よって、分筆と所有権移転登記が行われていない市道がどれだけあるかは、把握できていません。

山田 その固定資産税はどうなっているのか。また、新たに発見した場合どう対処しているのか。

土木部長 公衆用道路の固定資産税は非課税ですので、無償提供により道路となった土地については、現況に応じて非課税としています。

また、新たな事業が判明したときは、税務課と協議し、非課税措置とするなどの対応を行っています。

山田 県道から市道へ移管された場合、そのチェック機能はどうしているのか。

土木部長 道路敷地内の個人土地所有者の無や権利等に問題がないことを確認し、引き渡しを受けます。

山田 未登記に対する今後の対応策をどう考えているのか。

土木部長 今後は、事業が判明した時点で、個別に対応していきます。

フルーツラインの

県道昇格について

山田 フルーツラインについて、年間の維持管理費用はどれくらい掛かっているのか。

経済産業部長 旧滝ずい道入口のロードヒーティング等に係る光熱水費約120万円、道路清掃



フルーツライン(旧滝ずい道入口)



平野 時夫 議員

ネット依存対策

について

平野 対策の効果と、今後の方策は何か。

教育長 平成26年度に芦原中学校が「ネット利用5か条」を策定し、1日の利用を2時間までに制限しました。翌年には、金津中学校が「金中22時宣言」を策定し、22時以降のインターネットやスマホの使用を控える啓発活動に取り組んでいます。いずれも生徒主体で策定し活動しています。

また、市少年愛護センターでは、28年度に「あわらっ子スマートルール」を策定し、全児童・生徒に配り周知・啓発に努めています。中学校のアンケートでは「ルールを

守っている」が、28年度末の約59%から、29年度末は約70%に増え、ルールは徐々に浸透しています。今後は、情報モラル教育を強化します。

平野 事業所のごみにおける食品ロス(食べ残し等)の割合はどれだけが。市民生活部長 平成27年の県の組成調査によると、事業所のごみの28%を占める食品廃棄物のうち、食品ロスは16%です。また、昨年度に県が実施した事業系食品ロス実態調査によると、旅館業の食べ残し比率が94%と最も高く、飲食業の食べ残しも80%以上を占めています。

教育長 ネット依存予防のツールとして有意義であり、導入は関係部署と協議する考えです。

平野 条例を制定すべきではないか。

教育長 目的や方向性は同じなので、先のあわらっ子スマートルールが各家庭に浸透するよう取り組んでいきます。

平野 SNSを活用した相談窓口を設置してはどうか。

教育長 文科省では、SNSを活用した相談体制の構築について、昨年7月から検討を開始しており、その動向に注視して対応します。

平野 食品ロス削減に関する研修会を開催してはどうか。

市民生活部長 ごみ減量等推進員会議で協議し、どのような手法で市民向けの研修会が開けるか検討します。

食品ロス削減について

平野 事業所のごみにおける食品ロス(食べ残し等)の割合はどれだけが。

市民生活部長 平成27年の県の組成調査によると、事業所のごみの28%を占める食品廃棄物のうち、食品ロスは16%です。また、昨年度に県が実施した事業系食品ロス実態調査によると、旅館業の食べ残し比率が94%と最も高く、飲食業の食べ残しも80%以上を占めています。

事業所のごみ減量のため、搬入時の検査を昨年度から強化しており、発生の抑制や資源化等に取り組むよう協力を求めています。

平野 食品ロス削減に関する研修会を開催してはどうか。

市民生活部長 ごみ減量等推進員会議で協議し、どのような手法で市民向けの研修会が開けるか検討します。

市長の報酬・退職金削減を

削減を

山田 市長の報酬は、月額89万円となっているが、これから計算すると退職金は4年間で約2千万円になる。報酬と退職金を合わせて考えると高過ぎるのではないかと。また、前市長が不祥事によって辞任したが、退職金は規定どおりに支払われたとのこと。市民感情としてはとても納得できない。

退職金については、福井県市町総合事務組合が扱っており、あわら市だけでなくどこまでできることではないが、構成自治体の一員として、見直しを求めざるべきではないかと。総務部長 市長の給料の額については、条例に基づき、月額89万円と定められています。また、退職金については、市町総合事務組合において議論されるべきであると考

火災予防について

毛利 防火水槽は適正に配置されているのか。

総務部長 現在市内には、331基の防火水槽が設置されています。消火栓や防火水槽等の消防水利の配置基準については、嶺北消防組合からは、概ね適正に配置されているとの報告を受けています。

毛利 消火栓や防火水槽の設置場所等を区民に知らせているか。

総務部長 各地区には、冬期における水利確保のため、消火栓周辺の除雪を依頼していることから、各地区においてもその設置場所が把握されています。

また、取り扱い等については、平成29年度に、嶺北消防組合指導のもとで「防火に関する講習会」が、20回程度行われたとの報告を受けています。

フレイル予防

について

毛利 フレイル予防をどのように進めていくのか。

健康福祉部長 東京大学高齢社会総合研究機構の研究では、フレイル予防には、日々の社会活動を通じて人とのつながりを保つことが、より効果的であるとの報告があります。本市では、地域に出向いてフレイルチェックを行いながら、フレイル予防に対する啓発に努めてきました。

フレイル予防の啓発やフレイルチェックの実施が、高齢者の介護予防に対する意識の向上につながるかと考えています。

今後は、対象地区を広げながら取り組んでいきます。

※フレイル 身体的・社会的な活動が低下した「虚弱」の状態のこと。多くはフレイルを経て要介護状態へ進む。



毛利 純雄 議員

介護の現状について

毛利 あわら市の介護対象者の状況について、要支援、要介護認定者は何人か。

健康福祉部長 保険者である坂井地区広域連合の報告によると、本年3月末において、要支援者は240人、要介護者は1千274人で、合計1千514人となっています。

毛利 施設の入所希望者、待機者はどれくらいいるか。

健康福祉部長 坂井地区広域連合の調査によると、平成29年4月の時点での入所希望者は122人ですが、実待機者数はこれより少ないと推計しているとのこと。

健康福祉部長 坂井地区広域連合の調査によると、平成29年4月の時点での入所希望者は122人ですが、実待機者数はこれより少ないと推計しているとのこと。

※フレイル 身体的・社会的な活動が低下した「虚弱」の状態のこと。多くはフレイルを経て要介護状態へ進む。

また、取り扱い等については、平成29年度に、嶺北消防組合指導のもとで「防火に関する講習会」が、20回程度行われたとの報告を受けています。



山川 知一郎 議員

新幹線県内延伸 JR駅周辺整備は無駄を省いて必要最小限に

山川 新幹線が敦賀まで延伸すれば、敦賀で乗り換えなければならず、現在より不便になる。また、運賃も高くなり、関西・中京のお客は減るのではないかと。

市長 関西・中京からの誘客拡大に向けては、県や他市町と連携し、新たな旅行商品の開発や情報発信の強化等を考えています。

山川 「新幹線より、現在の特急『サンダーバード』しらすぎがあればよい」との声がある。特急を残すべきと考えるがどうか。

市長 大多数の市民は、

新幹線延伸に期待していると認識しています。



JR芦原温泉駅前

山川 金沢開業によって、金沢はお客が増えたが、他の自治体は期待したほどの効果もなく、駅周辺整備への投資が重荷になって、財政を圧迫していると言われている。芦原温泉駅周辺整備への投資が、あわら市の財政悪化につながることはないか。無駄を省き必要最小限にすべきである。

市長 駅周辺整備については、賑わい広場の事業費を27億円から20億円に縮小し、aキューブ南側の土地活用検討街区については、できる限り民間投資を呼び込むなど、過剰な投資とならないように考えています。



議会活性化特別委員会

行政視察報告

当委員会は、京都府京丹後市で「政務活動費」について視察研修を行いました。

京丹後市議会が政務活動費を検討し始めた矢先、全国で政務活動費の不正受給が相次ぎ発覚する中、平成27年、適正と認められた実費だけを後日支給する「後払い制」を全国に先駆けて導入し、注目を集めました。

一方、あわら市議会は改選前に検討会を立ち上げましたが、「市民の理解を得られないであろう」「時期尚早だ」ということで改選後に継続検討することとしました。

京丹後市議会では、全議員の理解を得て議会の総意で、前払いでなく、完全後払いにするなど、厳しい状況での決定に納

得できる内容でした。

また、政務活動費交付と定数削減について、どうしても一緒に捉えがちだが、これは別に捉えるべきとの意見でした。

さらに、交付方法や政治活動と政務活動の違いを明確にするなど、これからしっかりと委員会できいていきたいと思います。

視察後に開催した委員会で「運営基準等はあわら市独自の運営基準を作っていくべきである」という意見が出ていました。

今後は、全議員を対象とした講演会を企画するなど、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。



京丹後市議会議場にて

りません。

また、予算決算常任委員会の設置経緯について説明します。以前は小浜市もあわら市議会と同様、分割付託方式によって予算審査していました。しかし、分割付託方式は議案不可分の原則に違反していることなどの問題を抱えています。

また、平成18年の自治法改正により、複数の常任委員会に所属可能となったこともあって、平成19年10月に議長から議会運営委員会へ諮問し、予算常任委員会の設置を検討し始めたそうです。

その後、2度の視察研修、会期日程構成の変更

議会運営委員会

行政視察報告

当委員会は、小浜市で「予算決算常任委員会の設置経緯、運営方法」について視察研修を行いました。

まず、予算決算常任委員会の設置経緯について説明します。以前は小浜市もあわら市議会と同様、分割付託方式によって予算審査していました。しかし、分割付託方式は議案不可分の原則に違反していることなどの問題を抱えています。

また、平成18年の自治法改正により、複数の常任委員会に所属可能となったこともあって、平成19年10月に議長から議会運営委員会へ諮問し、予算常任委員会の設置を検討し始めたそうです。

その後、2度の視察研修、会期日程構成の変更

等を経て、平成21年6月に予算常任委員会を設置しました。

平成23年5月には、議長を除く全議員で構成する予算決算常任委員会を設置したそうです。

次に、予算決算常任委員会の運営方法について、会議の種類は2つあります。1つ目は最初に審査方法を決定し、最後に審査・採決する全体会、2つ目は調査依頼された予算議案を調査する各分科会です。

初日の本会議で予算議案を付託された後、全体会を開催します。ここでは理事者から予算説明を受け、審査の方法を決定します。なお、分科会で調査することを大原則としていくそうです。

次に、各常任委員会を母体とする分科会を開催し、予算議案を調査しま



小浜市議会議場にて

す。ここでは、調査のみを行い、討論・採決は行いません。また、分科会長及び副会長は、各常任委員会の正副委員長が就任します。

最後に、再び全体会を開催します。各分科会からの報告を受け、質疑を行います。その後、重大な問題については、理事者に対し再質疑され、自由討議、討論を経て採決を行います。

今回の視察を通して、小浜市議会の方式が、当市議会の運営に一番見合ったものだと感じました。

請願・陳情 意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書採択に関する陳情

要旨 国における地方消費者行政の充実・強化については、交付金を通じて、財政的な支援が図られているが、平成30年度は24億円にとどまり、地方自治体は、消費生活相談員や相談窓口担当者を減員するなど、地方消費者行政が大きく後退してしまうことが予想される。このことから国に財政支援の継続、拡充を求める。

提出者 福井弁護士会 会長 前波 裕司

食料・農業・地域政策確立に向けた要請

要旨 福井県農業の振興をさらに進めるためには、地域での水田フル活用ビジョンを基に水田園芸等の生産拡大を進めて、農業所得の向上を図る必要があるため、各種支援や対策の実現を政府の関係当局に対して強く要請するとともに、行政として特段の取り組みを求める。

提出者 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一 福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

あわら市農業対策に関する要請書

要旨

- ①有害野鳥対策に関する要請
②有害獣対策に関する要請
③稲力メムシ等の防除に関する要請
④農業用ビニール等の廃棄物処理に関する要請
⑤園芸・畜産の活性化と振興に関する要請

提出者 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一 福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

平成30年5月 第92回 あわら市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

Table with columns for members (e.g., 卯目ひろみ, 坪田 正武) and rows for resolutions (e.g., 専決処分の承認を求めるとして(平成29年度あわら市一般会計補正予算(第12号))).

平成30年6月 第93回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

Table with columns for members and rows for resolutions (e.g., 平成30年度あわら市一般会計補正予算(第1号), 地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書).